

奈良県立医科大学附属病院長選考委員会（第2回）

日時： 令和6年1月24日（水）18時00分～19時15分

会場： 奈良県立医科大学 学長室会議室

出席者： 細井委員長、宇都宮委員、室委員、石飛委員、藤本委員、阪上委員、山上委員
（事務局）三浦法人企画部長、奥野人事課長

【議事】

1. 公募の結果について
2. 選考対象者との面談
3. 選考対象者の評価について

【議事概要】

1 公募の結果について

○選考委員の補充

・奈良県立医科大学附属病院長の選考に関する規程（以下、「選考規程」と表記。）に基づき、理事長指名の委員として本学呼吸器内科学講座教授の室氏が補充の委員となることを報告。

○全ての委員が出席しているため、出席者数が委員総数の過半数を満たすことから、委員会成立を報告。

（事務局）

○本日の委員会の流れ

・公募への応募状況と選考対象者（応募者）からの提出資料を確認し、面談（プレゼンテーションと質疑応答）を実施する。

・面談後に選考対象者について評価等を議論し、推薦の可否と推薦理由について協議、検討する。

○公募への応募状況

・現病院長の吉川氏から提出された応募書類について確認。

2 選考対象者との面談

【吉川候補入室】

○選考対象者によるプレゼンテーション

- ・吉川候補がスライドを用いて所信を表明。

○質疑応答の概要

(質問) 医療安全について、事件が起こるとメールではなく24時間体制の電話報告に変更しているは素晴らしいことだが、実際うまく機能しているのか。

(回答) ホットラインを設けて、まずは一報を入れるようにしている。医療の質・安全管理センターの職員に電話対応をしてもらっている。病院長の元へは、まとめてメールによる報告を受けている。

(質問) コロナ対策が数年続いているが、職員のモチベーションをどのように保ったのか。

(回答) 特定の人に負担がかからないように、全科をあげて対応しており、看護師やコメディカルもそれぞれの立場で頑張ってもらって、全職員で対応するようにしている。

(質問) 初診患者数が少ないとのことだが、各科で地域に出て行っていわゆるキャラバンをすることなどはあるのか。

(回答) 連携登録医の先生方との懇話会を開催して、お互い顔の見える関係を構築する努力をしている。入退院支援センターが直接病院を訪問して、情報共有したり、広報活動をしている。

(質問) 大学病院として臨床研究の活性化はどのように進めるのか。

(回答) 臨床研究センターが各診療科に働きかけ、シーズを発掘するとともに、研究サロンを設置して気軽に相談できるようにしている。各種会議でどの科がどんな研究をしているかを明らかにし、見える化を進めていきたい。また今年度は論文10件、来年度は12件という目標も示して、共有していく。

(質問) 働き方改革で人件費がかさむことに対する対策は。

(回答) 補助事業の活用や加算を取りに行ったり、報酬の取りこぼしをなくすチェックを強化したり、入院期間を適切化することなどで、経営改善を図りたいと考えている。医師の働き方改革を進めるために必要となる人員は、できるだけ入れていきたい。

(質問) これからはコロナ対策と通常診療を平行して実施していく段階であり、ヒューマンリソースや物理的スペースなど、色々なものの微妙なバランスをとって進めていく手綱さばきのビジョンは。

(回答) 病棟配置を柔軟にして、バランスを保って稼働率を上げていきたいと考えている。

(質問) 今後、医療安全の面では何に力を入れていくのか。

(回答) 医療安全文化の醸成、医師の意識を高めることに注力したい。躊躇しているのか、医師からのインシデントアクシデントレポートの提出が少ないと思う。フィードバックして再発防止に活用するため、レポートを分析して活かしていかなければならないと考えている。高難度新規医療については、十分なディスカッションをした上で実施していきたい。

(質問) 患者サポートセンターのビジョンは。ペイシェントフローマネジメントに病院としてどのよう

に取り組むのか。

(回答) ペイシェントフローマネジメントは大切だと認識。どういう患者さんがどこから紹介されて、どこへ戻っていったか、見える化して把握することが大事。患者があちこち行くのではなく、1か所で医療相談などいろんな相談ができるような機能を、新A棟に備えたいと考えている。

(質問) 新A棟についてはキャパシティも限られているが、院内調整をどのように進めるのか。

(回答) 基本的なコンセプトを作ってきたので、スペースがないからと言って新A棟の機能を削るようなことは考えず、なんとか実現できるようにすることを考えたい。同時にではなくてもC棟南側などのスペースの有効利用や階高など、面積を生み出すことも考えたい。

【吉川候補退出】

3 選考対象者の評価について

(委員長)

- ・吉川候補を次期病院長の候補者として推薦できる人物かどうか、各委員の意見を伺う。

(各委員からの主な意見)

- ・安定したバランスの良さがあり、何ら問題はない。

以上のことから、吉川候補を次期病院長候補者として推薦できると結論付けた。

今後公表する選考の過程、選考理由の文面について検討のうえ、最終的には委員長に一任することとされた。